

2023 年 9 月 4 日

各 位

会社名 A e r o E d g e 株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼 執行役員 CEO 森西 淳
(コード番号 : 7409 東証グロース)

新工場建設着工に関するお知らせ

AeroEdge 株式会社（本社：栃木県足利市、代表取締役社長：森西淳）は新工場の建設に着工することをお知らせいたします。

2023 年 5 月 29 日公表の「目論見書」において、現在の主力事業であるチタンアルミブレード生産以外の、新たに受注が見込まれる航空機エンジン部品の新規加工案件の量産化についてご案内しておりますが、この新規量産案件に対応するための、新工場に関する詳細が確定いたしましたので、この度、新工場の建設に着工することといたしました。

これに伴い、2023 年 9 月 1 日に天利 和紀栃木県副知事や早川 尚秀足利市長など、地元関係者を来賓にお迎えし、代表取締役社長 森西 淳ほか当社関係者が出席のうえ、地鎮祭を執り行い、建設工事と工場稼働の安全を祈念いたしました。

当社は、商業用航空機である仏 Airbus 社製 A320neo ファミリー機および米 Boeing 社製 737MAX 機に搭載される LEAP エンジン用部品であるチタンアルミブレードの量産・販売を主力事業としておりますが、新工場建設により、現在受注に向けて量産技術開発並びに顧客と交渉中のチタンアルミブレード以外の新たな量産事業を展開することを目指してまいります。

また、航空機産業では 2050 年をターゲットにした CO2 削減目標策定と達成が強く求められており、新工場には、太陽光発電によるグリーンエネルギーを導入するなど、CO2 排出量削減に向けても積極的に取り組んでまいります。当社は、事業活動による ESG への取り組みはもちろん、事業活動外でも地域社会連携や地域貢献活動に参加し、お客様・地域の皆様・従業員すべてのステークホルダーの満足度向上を図りながら、持続的な成長を目指して参ります。

■設備投資の概要

設備投資内容	新工場及び航空機エンジン部品製造設備ほか
生產品目	LEAP エンジン以外の航空機エンジンに搭載される部品
場所	栃木県足利市寺岡町 482-6（本社工場敷地内）
投資予定額	1.883 百万円（新工場並びに設備総額）
投資開始時期	2023 年 7 月
投資完了時期（予定）	2024 年 6 月予定



新工場完成イメージ



地鎮祭後の集合写真

AeroEdge（エアロエッジ）は、世界の航空業界でナンバーワンを追求する技術集団です。栃木県足利市に本拠を置く 2016 年創業の小さな企業が、航空機エンジン製造大手のフランス企業（Safran Aircraft Engines 社）から次世代航空機用エンジン「LEAP」に搭載されるタービンプレードの国内初の長期量産サプライヤーに選定され、現在その生産体制の構築を加速しています。AeroEdge は製造業に軸足を置きながら環境の変化に迅速に対応し、常にリーディングエッジであり続けること、一人ひとりが自主性・創造性を発揮し、他人がやっていない新しいことに果敢に取り組み、新しい価値を創出すること、社会と人々の幸せに寄与することを使命に「ゼロからイチを創る」活動を推進しています。

<https://aeroedge.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先：

AeroEdge 株式会社 IR 担当

Mail: <https://aeroedge.co.jp/ir/inquiry/>